

社協だより

福祉のひろば

社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会

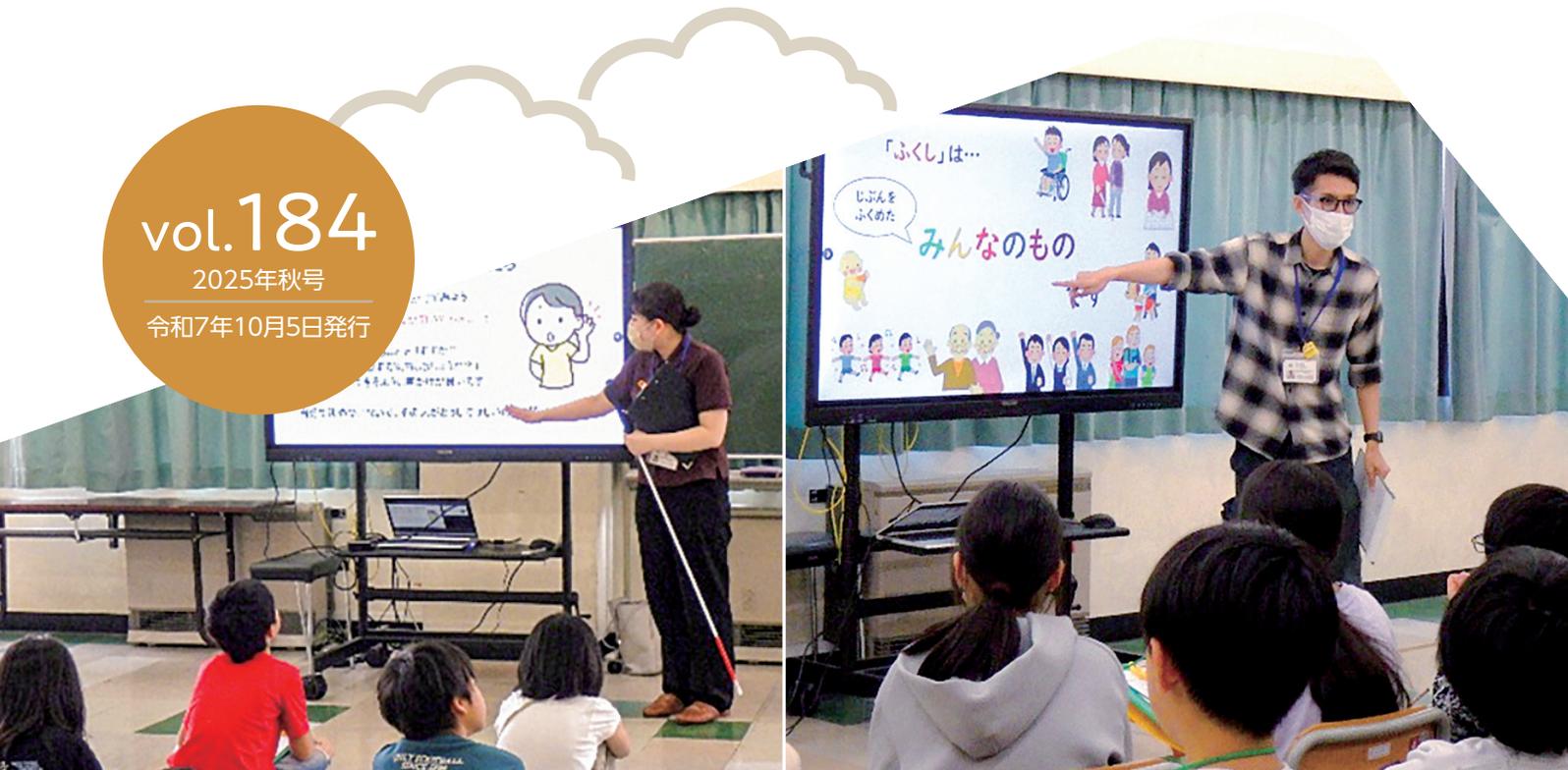
ともに ささえ
ともに いきる



vol.184

2025年秋号

令和7年10月5日発行



社会福祉協議会では、福祉教育の実践を通じて、子どもから大人まで福祉の視点を育て、地域の福祉課題を、他人事ではなく、自分事として考えることのできる地域づくりを目指しています。



CONTENTS

- ・特集記事
「福祉教育の活動紹介」
- ・社会福祉協議会応援企業のご紹介
- ・社会福祉協議会会長表彰者のご紹介
- ・社会福祉協議会会費ご協力をお願い
- ・赤い羽根共同募金公募のご案内
- ・児童クラブお仕事見学会のご案内
- ・事業紹介

ふだんのくらしのしあわせのための取組

福祉教育は、「福祉」を、自分のこととして考えるきっかけをつくるためのものです。

様々な福祉について知り、考え、気づき、行動する。

それがみんなの、そしてあなたの、「ふだんのくらしのしあわせ」への第一歩につながります。

社会福祉協議会では、地域に住む人それぞれが幸せになれるような様々な取組を行っています。

【福祉教育とは】

福祉教育とは、講話や体験活動を通じて、思いやりの心、支え合うことの大切さを伝え、共に生きる力を育むことを目的としています。

柏崎市社会福祉協議会が提案する『福祉教育推進プログラム』で「ふ・く・し」は、「ふだんのくらしのしあわせ」とお伝えしています。特別なものではなく、自分にも関係のある身近な題材から、福祉を自分のこととして主体的に考え、調べ、話し合うことで、「ふだんのくらしのしあわせ」について学びを深める工夫をしています。



【地域で、学校で！福祉教育を活用するには？】

『福祉教育推進プログラム』は、小・中学校、高等学校での総合的な学習の時間だけでなく、コミュニティセンター、町内会の集まりなどでもご活用いただけます。

活用の流れは以下のとおりです。

1. 開催日の1か月前までに、柏崎市社会福祉協議会に連絡をください。
2. 担当者と打合せ
日時、会場、対象者、希望するプログラムの内容について打合せを行い、プログラムの企画・調整をさせていただきます。
3. プログラムの決定
打合せの内容をもとにプログラム案を作成し、FAX またはメールで相談しながら、プログラムの細部を決定します。
4. 福祉教育プログラムを実施します。
5. 終了後に福祉教育を依頼された方からアンケートを記入していただきます。

詳細は、地域福祉課地域福祉係までお問合せください。

問合せ ▶ 地域福祉課 地域福祉係 ☎ 0257-22-1411



たくさんの方から
福祉教育を
学んでいただいています！



令和6年度実績 合計 2,806 人

小学校 10 校	延べ人数合計	1,866 人
中学校 6 校	延べ人数合計	940 人

【なぜ社協が福祉教育を行うのか？】

社会福祉協議会では、住民主体による地域福祉の推進を目指しています。それを実現するためには、一人一人の住民が地域福祉に関心を持ち、学習を繰り返しながら、住民一人一人の主体性を育てていくことが重要です。したがって、社会福祉協議会では福祉教育をととても大切にし、職員の中では「地域福祉は、福祉教育にはじまり、福祉教育に終わる」という言葉が語り継がれています。



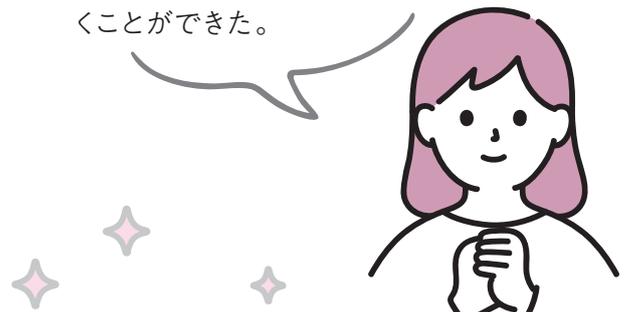
【福祉教育 × 地域交流】

講義や体験活動だけでなく、学んだことを実践する場として、地域交流会も行っています。地域交流を通して、より福祉を身近に感じ、ふだんの暮らしが福祉と関わりがあることに気づいていただけたらと思います。



【福祉教育を取り入れてみて…】（令和6枇杷島小学校、令和7荒浜小学校）

- 様々な角度からお話をしてもらったことで、子どもたちの視野が広がった。
- 1年間かけて活用し、何よりも子どもたち自身が自分の成長を感じられたことが大きな成果だった。
- 将来の夢で、「音訳をする人になりたい」と書いている児童もいた。
- 福祉に関心を持ち、自分を含めた「みんな」が幸せになることが大切だということに気づくことができた。



私たち

社協の 応援隊

柏崎市内の福祉活動推進のために必要な経費は、市内企業の皆様からご協力をいただき「特別会費」の納入により賄われています。ご協力をいただきました市内企業2社の活動についてご紹介します。



大和運送建設株式会社

Data 〒945-0027 新潟県柏崎市北斗町4-73
☎0257-23-1111 / FAX:0257-24-8301



■ 柏崎市がこんな「福祉のまち」になってほしい

子供たちも、学生も、若者も、お年寄りも、皆が心から「ここで生まれて良かった」「ここでの生活が幸せだ」「人とのつながりや絆が嬉しい」「ずっとここに住み続けたい」と思える大切な「こころのふるさと」であり続けてほしいと思います。

■ 企業としての取組のご紹介

当社は昭和7年に運送業として創業しました。その後、資材の運送で関わっていた土木・建設業、保有する車両のメンテナンスのための自動車修理部門、土木工事に必要な浜砂採取業、建設現場で発生する産業廃棄物の処理事業へと、運送という太い軸から様々な事業が発生しました。一番新しい動きは、コケ緑化

システム事業のスタートです。屋上や屋根にコケボードを使用すれば、断熱効果により省エネ効果が期待できると共に、工場立地法で求められる緑地面積を効率よく確保できます。景観としてもおしゃれですし、環境アピールにもつながります。また、地元農家さんとも協力して自社でのコケ栽培を行っています。近年の課題となっている耕作放棄地の有効利用にも役立つと喜ばれております。今後も社会や時代の要請を踏まえ、若い力を受け入れながら、常に一步先へ。地元を盛り上げ、豊かにするため、大和運送建設は努力し続けてまいります。

株式会社 オフィス・シナダ

Data 〒945-0067 新潟県柏崎市西港町4番19号
☎0257-41-5077 / FAX:0257-41-5177



■ 柏崎市社協を応援しようと思ったきっかけ

様々な事情で日々の暮らしに不安を感じる方々の心の拠り所として、また、市民が抱える多様な生活課題に対しても多角的にサポートしていただける大切な存在だと思っています。

■ 企業としての取組のご紹介

当社は柏崎市を中心に土地建物の取引仲介、賃貸アパートのご紹介等を行っております。

近年は市内においても空家数が急激な増加を見せていますが、それに比例して物件のリフォームや活用方法についてお問合せいただく機会が増えています。

そうした社業に付随するところではありますが、当社では身寄りのない方や高齢の方からも相談を受け付け、居住支援に取り組んでいます。

居住支援とは、住宅の確保が難しい方々（住宅確保要配慮者）が安心して住まいを見つけ、生活を送れるようにするための支援です。具体的には情報提供から始まり、見守り、生活支援、家賃債務保証など、様々な形でサポートを行っています。

今後も社協の皆様にご協力を賜りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたいと考えています。

令和7年度

柏崎市社会福祉協議会会長表彰

柏崎市内の福祉の充実のために、日々多くの方が活躍されています。
この度、永年にわたり柏崎市の福祉の向上に尽力された方々を表彰いたしましたので、ご報告いたします。

- **民生委員・児童委員表彰者**(敬称略)
(在籍期間が15年以上で功績顕著な現職の民生委員・児童委員)
 - 小林 京子(枇杷島・半田地区)
- **社会福祉団体役員表彰者**(敬称略)
(在籍期間が15年以上で功績顕著な現職の福祉施設、福祉団体、社会福祉協議会の現職役員)
 - 内山かほる(社会福祉法人なかよし福祉会)
- **社会福祉活動優良団体・個人表彰者**(敬称略)
(優良な福祉活動を10年以上継続し、現在も活躍している功績顕著な団体又は個人)
 - 峰尾 悦子(柏崎点訳奉仕会) ○ 尾崎 有美(柏崎点訳奉仕会)
 - 雙田みどり(柏崎市ボランティア連絡協議会)
- **永年勤続表彰者**(敬称略)
(在籍期間が20年以上の福祉施設、福祉団体、社会福祉協議会の職員)
 - 小池 義仁(社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会)
 - 安澤 久佳(社会福祉法人西山刈羽福祉会)

／ **ともに支え ともに生きる 福祉のまちづくり** ／

柏崎市社会福祉協議会会費にご協力をお願いします。

柏崎市社会福祉協議会は、市民の皆様にご加入をお願いし、皆様の参加と協力を得ながら、「ともに支え ともに生きる 福祉のまちづくり」を推薦しています。

当会では、皆様から納入していただきました「会費」を財源にして、地区福祉組織のサロン活動支援や日常生活自立支援事業などの地域福祉を推進する様々な事業の展開に努めています。

「かしわざき」の地域福祉は、皆様の会費によって支えられています。

会費納入は任意ですが、何とぞ、会員会費制度の趣旨をご理解いただき、会員加入に格別のご協力をお願いいたします。

目安額

一世帯 500円

10月1日から各町内会長を通じて
ご協力をお願いしています。



問合せ ▶ 総務課 総務係 ☎ 0257-22-1411

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

運動期間

10月1日

12月31日

毎年、多くの市民の皆様から温かい善意を頂き、心から感謝いたします。

じぶんの住むまちが好き、だからずっと住み続けたい。そんな気持ちを支えるしくみが赤い羽根。

たくさんの人々のやさしさが、共同募金を支えています。

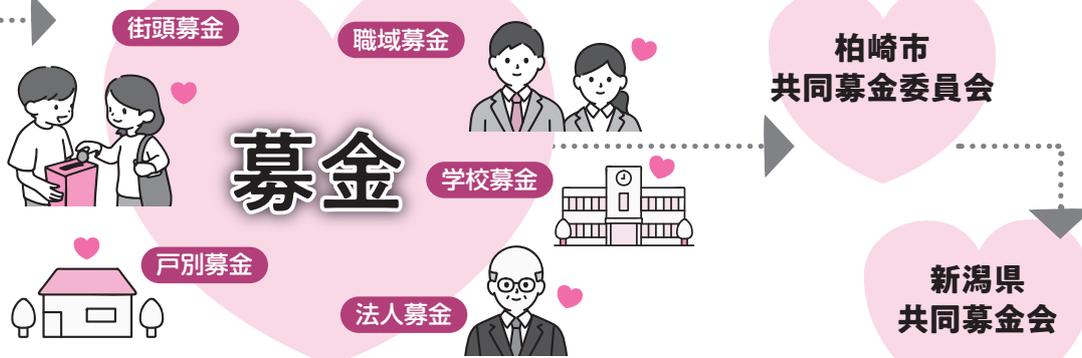
今年度も、皆様からご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

令和7年度目標額 **15,454,000円**

共同募金は、寄付金が集まってから使いみちを決める募金ではなく、地域の福祉のニーズに基づいて実施する事業を計画してから募金を行う「計画募金」であるため、目標額が設定されています。

募金の方法と流れ

次の方法で
ご協力をお願いします



A 配分：広域配分

- 県内の福祉団体・施設及び災害支援活動
 - 【令和7年目標額】
 - ・施設整備や地域活動支援センター等の支援助成
 - ・ボランティア団体支援
 - ・県広域福祉施設整備
 - ・災害支援のための積立金
 - ・緊急災害配分金など
- 4,883,000円**

B 配分：地域配分

- 市内の地域福祉活動
 - 【令和7年目標額】
 - ・地域福祉推進事業
 - ・福祉団体活動支援
 - ・公募で助成する福祉事業
 - ・ボランティア団体活動支援
- 6,271,000円**

C 配分：歳末配分

- 歳末たすけあい事業費
 - 【令和7年目標額】
 - ・地域つながり支援事業
 - ・おせち料理配達事業
 - ・子ども食堂助成事業
 - ・町内会対象の新規事業など
- 4,300,000円**

寄付金による配分を受けた団体から共同募金に寄せられた、
寄与者に感謝を伝える「ありがとうメッセージ」をご紹介します。

■ 柏崎要約筆記サークル「山百合」

パソコン整備事業

本会は聴覚障がい者に対して、要約筆記を通じて情報保障を行うボランティア団体です。現在、10名で活動しています。この度、共同募金の助成を受け、パソコン3台を整備しました。

このことで聴覚障がい者への情報保障の質が向上し、会員の要約筆記に関するスキルアップにつながりました。各種イベントなどで要約筆記を目にすることもあると思います。

パソコンを使った私たちの要約筆記をご覧いただけると幸いです。

■ 松波町内会

備品整備事業

私たち松波町内会は、携帯型小型無線機の購入に係る費用を柏崎市共同募金会から助成を受けました。災害時の円滑な情報発信など地域住民の安全安心な地域づくりにつながると思っています。

購入させていただいた備品は大切に使いたいと思います。

■ 学校法人小鳩幼稚園

教材費・遊具購入費助成事業

この度は「歳末たすけあい募金配分金事業」の助成を受け、製作活動のための画用紙類や、子ども達の大好きなまごど遊び等の遊具を購入させていただきました。これからも共同募金の活動に協力していきたいと思ひます。

～ 園児達より ～

かわいいお人形やまごどでお友達と仲良く遊びます。きれいな画用紙でたくさんお絵かきしたいと思ひます。



問合せ ▶ 総務課 総務係 ☎ 0257-22-1411

児童クラブ お仕事見学会のご案内



柏崎市社会福祉協議会では、柏崎市から受託して市内22か所の児童クラブの運営を行っています。22か所の児童クラブでは正職員及び非常勤職員を合わせ、現在60名程の職員が働いています。児童クラブの仕事をより多くの方に知っていただくことを目的に、柏崎市社会福祉協議会では児童クラブお仕事見学会を実施しております。

「児童クラブってどんなところ?」「児童クラブの仕事って何をしているの?」「自分も働けるのかな?」など、ぜひ気軽にお問合せください!

とき 平日13:30~17:30 (随時受け付けております。申込時にご希望の日程を職員にお伝えください。)

ところ 柏崎市立比角第二児童クラブ(柏崎市総合福祉センター内)

内容

- 児童クラブ職員の仕事について
- 実際に働いている職員の話
- 児童クラブ職場体験

実際に児童クラブの現場に入ってみましょう

児童クラブの仕事に興味のある方、子どもが好きの方、子育ての経験を活かして働いてみたい方など、たくさんの方の見学をお待ちしております!



児童クラブで働く “放課後児童支援員”って?

- ▶ 児童クラブで働く職員は、「放課後児童支援員」という資格を取得します。
- ▶ 年1回開催される研修を受講することで取得できます。

研修を受講するための要件

- ① 保育士資格を持っている
- ② 社会福祉士の資格を持っている
- ③ 幼稚園、小・中学校、高校の教員免許を持っている
- ④ 高卒以上で、児童福祉の仕事の経験が2年以上ある など

※受講要件に該当しない方も「児童クラブ補助員」として2年間児童クラブで勤務し、実務経験を積むことで研修の受講資格を取得できます。

事業紹介

柏崎市ボランティアセンター

「冬こそアツク！ 除雪ボランティア出動！」

除雪ボランティアを募集します！

男女問わず、高校生以上であればどなたでも参加できます！

柏崎市ボランティアセンターでは、冬期間の除雪ボランティア活動にご協力いただける方を募集しています。

活動のイメージ

8:50	福祉センター集合
9:00	オリエンテーション
10:00~	午前の活動
12:00	昼休憩
13:00~	午後の活動
16:00	福祉センターに帰所

※活動内容によって変動があります。



● 持ち物
防寒具・手袋・長靴・帽子・昼食・飲み物・タオル・着替え

● スノーダンプ、かんじき等は貸出し可能です

● 除雪活動情報、登録用紙は随時ホームページやFacebookで公開します

あなたの力が地域の冬を支えます。
ボランティアセンターまで、
お気軽にお問合せください!!

LINE 公式アカウント ▶



柏崎市ボランティアセンター
☎0257-22-1411

問合せ

記事の内容につきましては、こちらにご相談ください

地域福祉課 地域福祉係 ☎0257-22-1411

編集・発行

社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会

〒945-0045 柏崎市豊町3番59号 柏崎市総合福祉センター内
電話▶0257-22-1411 FAX▶0257-22-1441
mail▶ks-14@syakyou.jp

- ・地域福祉課（地域福祉係／生活支援係／柏崎市権利擁護センター）
- ・ボランティアセンター
- ・こども支援課（児童クラブ）

当会の福祉サービス等をご利用された際のお困り事に対して、ご利用者様との対話を通じて解決が図られるよう、各部署に苦情受付担当者を配置しています。お困り事は、該当する連絡先までご連絡ください。なお、直接苦情が言いにくい場合は、新潟県福祉サービス運営適正化委員会（025-281-5609）へご相談ください。各部署の苦情受付担当者は、ホームページ上でもご確認いただけます。



- 扇町介護保険事業センター 0257-22-3815(代)
- 居宅介護支援事業所 0257-41-4825
- 訪問介護事業所 0257-41-4827
- 居宅介護事業所 0257-20-4570
- 訪問入浴介護事業所 0257-41-4826
- ゆたか訪問看護ステーション 0257-22-1412
- 相談支援事業所おうぎまち 0257-32-1008
- 柏崎市西地域包括支援センターまちなか 0257-20-1535
- 柏崎市西地域包括支援センターあかさかやま 0257-41-5612
- 赤坂山デイサービスセンター 0257-20-1533
- 北条デイサービスセンター 0257-25-3566
- かしわハンズ 0257-21-7331
- 高齢者生活支援施設結の里 0257-31-9311

柏崎市社会福祉協議会 HP
<https://www.syakyou.jp/>

facebook
<https://www.facebook.com/kashiwazakisyakyou/>

かしわハンズ
Instagram



（次回は令和8年5月頃発行予定です）